

平成18年1月10日

報 道 資 料

ビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）事業
「日本の木造世界遺産観光フォーラム イン パリ」の開催について

日本「木造の世界遺産」市町村連絡協議会（平成16年5月14日に奈良市、姫路市、斑鳩町、吉野町の4市町で設立）は、国の「ビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）」の一環として、国土交通省との共催で「日本の木造世界遺産観光フォーラム イン パリ」を別紙の内容で開催します。

日本の文化は、森と人とが育んだ「木の文化」と言われています。そのエッセンスともいえる法隆寺、姫路城や古都奈良の文化財をはじめとする「木造の世界遺産」の大半は、関西にあります。

また、一昨年に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」も森と人との関わりの中で生み出された日本独特の宗教が作り上げた世界遺産といえます。

これに対し、ヨーロッパでは古くから石を用いた宮殿などの建造物が数多く残されており、「石の文化」とも言われています。

今回、日本の「木の文化」を代表する木造の世界遺産とフランスの石造の建造物のそれぞれの魅力を探り、「木の文化」と「木造の世界遺産」をアピールすると共に、奈良市、姫路市・姫路城がそれぞれ姉妹都市、姉妹城の提携を結んでいるベルサイユ市とシャンティイ城のあるシャンティイ市を表敬訪問し、木造世界遺産をはじめとする日本の魅力を紹介することで、日本・関西への観光客の増大を図ります。

問い合わせ先 奈良市経済部観光課

0742-34-1111（内線）2911

(別紙)

1. 実施国・市 フランス共和国・パリ市
2. 実施時期 2006年1月18日(水)～20日(金)
3. 事業内容

「フォーラム」の開催(別添プログラム参照)

場所: パリ日本文化会館

日時: 1月18日(水) 18:00～21:00

「姉妹都市」の表敬訪問

ベルサイユ市及びシャンティイ市を表敬訪問し、木造世界遺産をはじめとする日本の魅力をPRする。

1月19日(木) 10:00～ベルサイユ市

1986年奈良市・ベルサイユ市姉妹都市提携

1月20日(金) 10:00～シャンティイ市

1989年姫路城・シャンティイ城姉妹城提携

フランスのメディア5人程度を日本に招聘

関西の木造世界遺産のエクスカージョン(奈良市、姫路市、斑鳩町、吉野町、京都市、宇治市)を行い、帰国後実体験に基づく記事などを書いてもらうことにより、フランス国民に日本の木造世界遺産の情報普及を図る。

2月10日(金)～13日(月)

4. 主催

国土交通省

日本「木造の世界遺産」市町村連絡協議会(奈良市・姫路市・斑鳩町・吉野町)

5. 後援

在フランス日本国大使館

国連・世界観光機関(UNWTO)アジア太平洋センター

6. 協力

独立行政法人国際観光振興機構(JNTO)

パリ日本文化会館

7. 企画・運営 財団法人アジア太平洋観光交流センター(APTEC)

「フォーラム」プログラム

1. 映像による紹介

「日本の木造世界遺産」

2. 主催者あいさつ

国土交通大臣政務官・衆議院議員 石田真敏（予定）

日本「木造の世界遺産」市町村連絡協議会会長・奈良市長 藤原 昭

3. 基調講演

テーマ「日本の木造世界遺産（総論）」（仮題）

西村幸夫氏（東京大学教授、国際記念物遺跡会議前副会長）

国際記念物遺跡会議（ICOMOS）:

世界文化遺産の評価等を行う専門家の国際的な非政府組織。ユネスコの
記念物及び遺跡の保護に関する諮問機関。

4. プレゼンテーション

「日本の木造世界遺産の魅力」

奈良市：西本安博

斑鳩町：角井幸司

吉野町：山本茂之

姫路市：田中富美子

5. 特別講演

テーマ「山伏の姿と心」

中井教善師（吉野 大峯山 護持院喜蔵院住職）

出席予定者：

250人程度

フランスの旅行エージェント・メディア

日本の木造世界遺産や文化に関心のあるフランス人

VJC推進会メンバー（フランスで日仏の観光・国際交流に携わる

日本の企業・団体関係者で構成）

パリ駐在の日本メディア